

平成 31 年 1 月 29 日 (火)

平成 30 年度 学究科課題研究発表会



1月29日(火)10時15分から本校ゼミ室において、学究科2年生による「課題研究発表会」が開催されました。自然科学班12班、人文科学班9班の計21班が4月より取り組んできた研究の成果を発表しました。研究内容は地域の自然環境や歴史、高校生を取り巻く日常生活の中から見出した疑問の解明など、多岐にわたりました。中には、東京工業大学と連携して遺伝子解析を行った専門的なものや、大町市、信州大学、東京大学が連携して行っている活動に参加して取り組んだ実践発表もありました。各班の発表後には質疑応答を行い、生徒からの質問の他、本校職員によるアドバイスなどをいただきました。また校長先生からは、課題を見つけ出し、周囲と協働して改善策を考え、わかり易く伝えるという課題研究の一連の取組は、日常の学習活動や社会に出てからも役立つ大切なものである。是非今後に生かして欲しいと、講評をいただきました。発表会後は、南ラウンジでポスターセッションを行いました。先輩の発表を聞いた学究科1年生が来年度、どんな課題研究を行うか、楽しみです。

研究テーマ一覧

- (1) 自然科学班 『落ち葉成分の栄養素』
- (2) 人文科学班 『人の噂』
- (3) 自然科学班 『帰化植物の分布と在来植物に対する影響』
- (4) 人文科学班 『心理テストに根拠はあるのか』
- (5) 自然科学班 『比較 川の水』
- (6) 自然科学班 『温暖化で気孔の数は変わるのか』
- (7) 人文科学班 『地域にみる戦争』
- (8) 自然科学班 『紫外線と防御色の関係』
- (9) 人文科学班 『私たちに合うシャンプー』
- (10) 自然科学班 『長野県大町白馬地域における細菌群集構造の解析』
- (11) 自然科学班 『太陽光発電所建設に向けて』
- (12) 人文科学班 『安曇野の由来は本当に安曇族なのか』
- (13) 自然科学班 『洗剤を身近なものでつくる』
- (14) 人文科学班 『大町市の防災について』
- (15) 自然科学班 『身近なものからつくる耐久性』
- (16) 人文科学班 『大町の空き家の活用』
- (17) 自然科学班 『塩味と濃度の関係』
- (18) 人文科学班 『英訳された日本映画における捉え方の違い』
- (19) 自然科学班 『イチョウの落葉のタイミング』
- (20) 人文科学班 『大町市に外国人観光客を増やそう』
- (21) 自然科学班 『コケの温度耐性』

